

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：GC 粗粒研磨材 #16～#220
製造業者名：ナニワトイン株式会社 住所：〒520-3322 滋賀県甲賀市甲南町深川 1458 電話番号：+81-0748-86-5550 FAX 番号：+81-0748-86-7015 文書 No：553-380-126-010
販売業者名：ナニワ研磨工業株式会社 住所：〒557-0013 大阪市西成区天神の森 1-17-17 電話番号：+81-06-6661-1171 FAX 番号：+81-06-6651-8367
緊急連絡電話番号：+81-0748-86-5550 ; +81-06-6661-1171
メールアドレス：-
推奨用途：一般工業用途 使用上の制限：推奨用途以外への使用は禁止する。

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類：

物理化学的危険性	無し。
健康に対する有害性	発がん性-区分 1B 特定標的臓器毒性, 単回ばく露-区分 1 (呼吸器) 特定標的臓器毒性, 反復ばく露-区分 1 (肺)
環境に対する有害性	無し。

## GHS ラベル要素：

絵表示	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H350：発がんのおそれ。 H370：臓器の障害（呼吸器）。 H372：長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害（肺）。
注意書き	
【安全対策】	P201：使用前に取扱説明書を入手すること。 P202：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P260：粉じん/煙を吸入しないこと。 P264：取り扱い後はよく手を洗うこと。 P270：この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。 P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急処置】	P308+P313：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 P308+P311：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

	P321：具体的な治療（ラベルに記載された具体的な事故措置を参照するか、病院へ診断／手当を受けること）。 P314：気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
【保 管】	P405：施錠して保管すること。
【廃 棄】	P501：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
-------------	------

成分	含有量(%)	分子式	官報公示 整理番号 (化審法 安衛法)	CAS No.	化学物質 管理促進 法 (PRTR)政 令番号※	労働安全衛生 法 (通知) 対象物 政令番号
炭化ケイ素	≥98	SiC	1-174	409-21-2	第一種 1-280	別表第9の 336

※：「化管法」の対象物質の詳細について、SDSの「15. 適用法令」を参照。

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識不明者にはいかなる食べ物も提供しない。吐かせないこと。気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	急性症状：無し。 遅発性症状：発がんのおそれ。臓器の障害（呼吸器）。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肺）。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具（保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面）を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	具体的な症状により処理すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤	注水は原則禁止。
火災時の特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法	初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。 ガスの供給を断つ。噴霧ノズル等で散水するなどにより周辺を冷却し延焼防止を図る。 風上から水を噴霧して容器を冷やしながら周囲の消火を行う。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。 関係者以外は安全な場所に避難させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。消火活動を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身を守る。
-----------------------	--

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。危険でなければ漏出源を遮断し、漏出物に接触しない。
環境に対する注意事項	回収された廃棄物を排水溝、下水溝と河川など流水域に流入しないよう注意する。地方自治体と関係国の法律に従う。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	本製品の性質によって、特別な回収の方式がない。回収する過程に、粉塵を生じることを避ける。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
注意事項	
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙を吸入しないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保管	
適切な保管条件	水分、湿気を吸収するとといしの強度が低下するので、湿気を避け通気の良い乾燥した場所で、平らな定盤上または整理棚等にて保管する。常温・常湿の所に保管すること。といしは水分の凍結の恐れのある場所に保管しないこと。粉塵の発生を避ける。
混触危険物質	情報なし。
適切な技術的対策	倒壊や落下を防ぐために、過剰に容器を積み重ねないでください。
容器包装材料	段ボール箱。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度:

成分名	ACGIH TLV-TWA	日本産業衛生学会の 許容濃度
炭化ケイ素 (CAS :409-21-2)	非線維性 : 10 mg/m <sup>3</sup> (I, E) 非線維性 : 3 mg/m <sup>3</sup> (R, E) 0.1 f/cc A2 繊維状のもの	0.1 mg/m <sup>3</sup> (繊維/ml)

設備対策	装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置することが望ましい。 この物質を貯蔵ないし取り扱う職場には洗眼機と安全シャワーを設置することが望ましい。
保護具	
呼吸器の保護具	許容濃度を超える場合あるいは調子が悪くなると感じる場合、検定品である防じんマスクを着用する。
手の保護具	不浸透性でありかつ丈夫な保護手袋。

眼の保護具	粉塵を生じる可能性がある場所には、保護眼鏡をかける（普通眼鏡型。側板普通眼鏡型。ゴーグル型）。
皮膚及び身体の保護具	保護具、保護布、安全靴等の保護具を着用する。
耳の保護具	耳栓を着用するのが望ましい。
保護衣	耐火花性のある材質の作業衣を着用。
衛生対策	休憩の前に、作業終了後は、手洗いを十分に行う。 加工による粉塵を吸入することを避ける。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体（粉末）	
色	黄色、緑、青など	
臭い	データなし	
融点／凝固点	2600℃（融点）	
沸点又は初留点及び沸点範囲	2210℃で分解	
可燃性	不燃性	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	上限	データなし
	下限	データなし
引火点	該当しない	
自然発火点	データなし	
分解温度	2210℃	
pH	データなし	
粘度	該当しない	
溶解度	水に溶けない	
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	該当しない	
密度	3.18 g/cm <sup>3</sup> ；嵩密度：1.0～2.5g/cm <sup>3</sup>	
比重	データなし	
相対密度	データなし	
相対ガス密度	該当しない	
粒子特性	データなし	
その他のデータ	データなし	

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はない。
避けるべき条件	高温、高湿度、衝撃。粉塵の発生を避ける。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

## 11. 有害性情報

急性毒性：	
-------	--

LD <sub>50</sub> /LC <sub>50</sub> 半数致死量	
急性毒性（経口）	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）： 急性毒性（経口）LD <sub>50</sub> >2000 mg/kg（ラット）（ECHA） 製品分類：区分に該当しない
急性毒性（経皮）	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）： 急性毒性（経皮）LD <sub>50</sub> >2000 mg/kg（ラット）（ECHA） 製品分類：区分に該当しない
急性毒性（吸入）	分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	分類できない。
呼吸器感作性	分類できない。
皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）：区分 1B（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1B
生殖毒性	分類できない。
特定標的臓器毒性，単回ば く露	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）：区分 1（呼吸器）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性，反復ば く露	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）：区分 1（肺）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1（肺）
誤えん有害性	分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）： 48h-NOEC>100 mg/L，甲殻類（Daphnia magna）（ECHA） 48h-EC <sub>50</sub> >100 mg/L，藻類（Desmodesmus subspicatus）（ECHA） 製品分類：区分に該当しない
残留性・分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
土壌中の移動性	情報なし。
オゾン層への有害性	情報なし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 認定を受けている産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空の容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	該当しない

品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
絵表示	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
MARPOL73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法に定めるところに従う。
航空規制情報	航空法に定めるところ及び、ICAO の規定に従う。
陸上規制情報	道路法、消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	該当しない
特別の安全対策	輸送前に包装に破損が無いか、密封できているかを検査する；輸送過程において、包装に破損が無く、貨物の落下防止措置を確実に行う；消防用と漏出処理用の関連設備を配備する；混触危険物質との共同輸送を禁止する。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（ラベル表示・SDS 交付義務対象物質）： 炭化ケイ素（CAS：409-21-2）：別表第9の336。		
毒物及び劇物取締法	該当しない。		
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）	特定第一種化学物質：該当しない。 第一種指定化学物質： 炭化ケイ素（CAS：409-21-2）： 第一種，1-280（2023年4月1日から）。 第二種指定化学物質：該当しない。		
消防法	該当しない。		
水質汚濁防止法	該当しない。		
土壤汚染対策法	該当しない。		
大気汚染防止法	該当しない。		
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	該当しない。		
食品衛生法	規格基準告示別表第1第2表 添加剤： 炭化ケイ素（CAS：409-21-2）：番号-968。		
国際法規			
EC No. 1272/2008 分類	成分	危害分類とコード	危害コード
	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）	Carc. 1B	H350i
REACH 規則 SVHC（高懸念物質）リスト	該当しない。		
米国有害物質規制法（TSCA 在庫品目）	成分	CAS No.	TSCA 在庫品目
	炭化ケイ素	409-21-2	記入
米国水質浄化法	成分	有害物質	優先汚染物質
	該当しない	該当しない	該当しない
発がん性関連法令	炭化ケイ素（CAS：409-21-2）：IARC-2A。		

